

学校コード F128210108698
注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の設置
注1

届出

兵庫県立大学^{注2} 大学院理学研究科 物質科学専攻 博士後期課程

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

兵庫県公立大学法人
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 播磨理学キャンパス経営部総務課

職名・氏名 ショクインミシマ タクミ
職員 三島 匠

電話番号 0791-58-0101 (内線212)
(夜間) 0791-58-0101 (内線212)

e-mail takumi_mishima@ofc.u-hyogo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理学研究科物質理学専攻

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

兵庫県公立大学法人

(2) 大学名

兵庫県立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒678-1297及び 〒671-2280

兵庫県上郡町赤穂郡光都3丁目2番1号及び姫路市書写2167番地

(本部：〒651-2197 兵庫県神戸市西区学園西町8丁目2番地の1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イオキベ マコト) 五百旗頭 真 (平成30年4月)	(コクイ ソウイチロウ) 國井 総一郎 (令和5年4月)	変更の理由：任期満了による 変更年月日：令和5年4月1日 報告年度(5)
学長	(オオタ イサオ) 太田 勲 (平成29年4月)	(コウサカ マコト) 高坂 誠 (令和5年4月)	変更の理由：任期満了による 変更年月日：令和5年4月1日 報告年度(5)
研究科長	(ニシタニ ヒデオ) 西谷 秀男 (令和3年4月)	(コバヤシ ヒサオ) 小林 寿夫 (令和4年4月)	辞任のため (4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理学研究科 物質科学専攻 博士後期課程 博士(理学)	理学関係	3	11	2年次 人 3年次 人	33		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	11 (-) [-]	人 (-) [-]	11 (-) [-]	人 (-) [-]	人 () []	人 () []	0.48倍	倍	0.15倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	6 (-) [-]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	5 () []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	6 (-) [-]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	5 () []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	6 (-) [-]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	5 () []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	6 (-) [-]	- (-) [-]	5 (-) [-]	- (-) [-]	5 () []	() []					
入学定員超過率 B/A							0.55		0.45			0.45					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 (-)	- (-)	5 (-)	- (-)	5 ()	[] ()			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	6 (-)	- (-)	5 ()	[] ()			
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	6 ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	[] ()
計			[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 (-)	11 (-)	16 ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	6人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	11人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	16人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

理学研究科物質理学専攻博士後期課程

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物質基礎解析学部門科目	物質基礎解析学特別講究ⅢA	1前		4		2	4				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅢB	1後		4		4	2				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅣA	2前		4		2	4				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅣB	2後		4		3	3				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅤA	3前		4		2	4				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅤB	3後		4		4	2				兼1
	物質基礎解析学特別演習ⅡA	1前	1			4	2				
	物質基礎解析学特別演習ⅡB	1後	1			3	2				兼1
	小計(8科目)	-	2	24	0	4	4	0	0	0	兼1
	物質機能解析学部門科目	物質機能解析学特別実験ⅢA	1前		4		5	5			
物質機能解析学特別実験ⅢB		1後		4		5	5				兼2
物質機能解析学特別実験ⅣA		2前		4		5	5				兼2
物質機能解析学特別実験ⅣB		2後		4		5	5				兼2
物質機能解析学特別実験ⅤA		3前		4		5	5				兼2
物質機能解析学特別実験ⅤB		3後		4		5	5				兼2
物質機能解析学特別演習ⅡA		1前	1			5	5				兼2
物質機能解析学特別演習ⅡB		1後	1			5	5				兼2
小計(8科目)		-	2	24	0	5	5	0	0	0	兼2
物質構造制御学部門科目		物質構造制御学特別実験ⅢA	1前		4		3	3			
	物質構造制御学特別実験ⅢB	1後		4		3	3				兼2
	物質構造制御学特別実験ⅣA	2前		4		3	3				兼2
	物質構造制御学特別実験ⅣB	2後		4		3	3				兼2
	物質構造制御学特別実験ⅤA	3前		4		3	3				兼2
	物質構造制御学特別実験ⅤB	3後		4		3	3				兼2
	物質構造制御学特別演習ⅡA	1前	1			3	3				兼2
	物質構造制御学特別演習ⅡB	1後	1			3	3				兼2
	小計(8科目)	-	2	24	0	3	3	0	0	0	兼2
	物質反応解析学部門科目	物質反応解析学特別実験ⅢA	1前		4		2	3			
物質反応解析学特別実験ⅢB		1後		4		2	3				兼2
物質反応解析学特別実験ⅣA		2前		4		2	3				兼2
物質反応解析学特別実験ⅣB		2後		4		2	3				兼2
物質反応解析学特別実験ⅤA		3前		4		2	3				兼2
物質反応解析学特別実験ⅤB		3後		4		2	3				兼2
物質反応解析学特別演習ⅡA		1前	1			2	3				兼2
物質反応解析学特別演習ⅡB		1後	1			2	3				兼2
小計(8科目)		-	2	24	0	2	3	0	0	0	兼2
部門共通		産学連携実践講義Ⅰ	1・2・3後		2		1				
	小計(1科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	兼2
フotonサイエンスコース限定科目	装置実習Ⅰ(Spring-8/SACLA Basic)	1・2・3前	2			1					兼2
	装置実習Ⅱ(Spring-8/SACLA Advanced)	1・2・3前		2		2					兼1
	装置実習Ⅲ(振動分光/計算機)	1・2・3前		2		2					兼5
	装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)	1・2・3前		2							兼5
	フotonサイエンス特論	1・2・3前		2		12	3				
	産学連携実践講義Ⅱ	1・2・3後		2		1					兼2
	小計(6科目)	-	6	6	0	12	3	0	0	0	兼10
合計(39科目)	-	14	104	0	14	15	0	0	0	兼17	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
物質基礎解析学部門科目	物質基礎解析学特別講究ⅢA	1前		4		3	4				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅢB	1後		4		5	2				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅣA	2前		4		3	4				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅣB	2後		4		4	3				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅤA	3前		4		3	4				兼1
	物質基礎解析学特別講究ⅤB	3後		4		5	2				兼1
	物質基礎解析学特別演習ⅡA	1前	1			5	2				
	物質基礎解析学特別演習ⅡB	1後	1			4	2				兼1
	小計(8科目)	-	2	24	0	5	4	0	0	0	兼1
	物質機能解析学部門科目	物質機能解析学特別実験ⅢA	1前		4		5	5			
物質機能解析学特別実験ⅢB		1後		4		5	5				兼3
物質機能解析学特別実験ⅣA		2前		4		5	5				兼3
物質機能解析学特別実験ⅣB		2後		4		5	5				兼3
物質機能解析学特別実験ⅤA		3前		4		5	5				兼3
物質機能解析学特別実験ⅤB		3後		4		5	5				兼3
物質機能解析学特別演習ⅡA		1前	1			5	5				兼3
物質機能解析学特別演習ⅡB		1後	1			5	5				兼2
小計(8科目)		-	2	24	0	5	5	0	0	0	兼3
物質構造制御学部門科目		物質構造制御学特別実験ⅢA	1前		4		4	3			
	物質構造制御学特別実験ⅢB	1後		4		4	3				兼3
	物質構造制御学特別実験ⅣA	2前		4		4	3				兼3
	物質構造制御学特別実験ⅣB	2後		4		4	3				兼3
	物質構造制御学特別実験ⅤA	3前		4		4	3				兼3
	物質構造制御学特別実験ⅤB	3後		4		4	3				兼3
	物質構造制御学特別演習ⅡA	1前	1			4	3				兼3
	物質構造制御学特別演習ⅡB	1後	1			4	3				兼3
	小計(8科目)	-	2	24	0	4	3	0	0	0	兼3
	物質反応解析学部門科目	物質反応解析学特別実験ⅢA	1前		4		3	3			
物質反応解析学特別実験ⅢB		1後		4		3	3				兼3
物質反応解析学特別実験ⅣA		2前		4		3	3				兼3
物質反応解析学特別実験ⅣB		2後		4		3	3				兼3
物質反応解析学特別実験ⅤA		3前		4		3	3				兼3
物質反応解析学特別実験ⅤB		3後		4		3	3				兼3
物質反応解析学特別演習ⅡA		1前	1			3	3				兼3
物質反応解析学特別演習ⅡB		1後	1			3	3				兼3
小計(8科目)		-	2	24	0	3	3	0	0	0	兼3
部門共通		産学連携実践講義Ⅰ	1・2・3前		2		1				
	小計(1科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	兼2
フotonサイエンスコース限定科目	装置実習Ⅰ(Spring-8/SACLA Basic)	1・2・3前	2			1					兼3
	装置実習Ⅱ(Spring-8/SACLA Advanced)	1・2・3前		2		2					兼1
	装置実習Ⅲ(振動分光/計算機)	1・2・3前		2		2					兼5
	装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)	1・2・3前		2							兼5
	フotonサイエンス特論	1・2・3前		2		13	3				
	産学連携実践講義Ⅱ	1・2・3前		2		1					兼2
	小計(6科目)	-	6	6	0	12	3	0	0	0	兼11
合計(39科目)	-	14	104	0	17	15	0	0	0	兼21	

卒業要件及び履修方法

1. 本専攻博士前期課程(通常コース)の修了要件は、原則2年以上在籍して在学中に必要な研究指導を受け、下記のすべてを満たしたうえで合計30単位以上を修得することとする。
 - ・上記の開講科目の修得単位数の合計が18単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の合計が14単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の中に必修の「特別演習Ⅰ(2単位)」が入っており、かつ、選択の「特別講究ⅠもしくはⅡ」または「特別実験ⅠもしくはⅡ」のうち少なくとも1科目(8単位)が入っていること
 - ・修士論文審査に合格すること
 - ・最終試験に合格すること
2. フォトンサイエンスコースの修了要件は、さらに下記の条件を満たすこととする。
 - ・修得単位数の中に必修の「装置実習Ⅰ」、選択必修の「装置実習Ⅱ～Ⅳ」のうち1つ(2単位)、必修の「産学連携実践講義Ⅱ」(2単位)および「フォトンサイエンス特論」(2単位)が入っていることこの修了要件を満たすことができなかった場合は1の通常コースの修了となる。

卒業要件及び履修方法

1. 本専攻博士前期課程(通常コース)の修了要件は、原則2年以上在籍して在学中に必要な研究指導を受け、下記のすべてを満たしたうえで合計30単位以上を修得することとする。
 - ・上記の開講科目の修得単位数の合計が18単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の合計が14単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の中に必修の「特別演習Ⅰ(2単位)」が入っており、かつ、選択の「特別講究ⅠもしくはⅡ」または「特別実験ⅠもしくはⅡ」のうち少なくとも1科目(8単位)が入っていること
 - ・修士論文審査に合格すること
 - ・最終試験に合格すること
2. フォトンサイエンスコースの修了要件は、さらに下記の条件を満たすこととする。
 - ・修得単位数の中に必修の「装置実習Ⅰ」、選択必修の「装置実習Ⅱ～Ⅳ」のうち1つ(2単位)、必修の「産学連携実践講義Ⅱ」(2単位)および「フォトンサイエンス特論」(2単位)が入っていることこの修了要件を満たすことができなかった場合は1の通常コースの修了となる。

卒業要件及び履修方法

1. 本専攻博士前期課程(通常コース)の修了要件は、原則2年以上在籍して在学中に必要な研究指導を受け、下記のすべてを満たしたうえで合計30単位以上を修得することとする。
 - ・上記の開講科目の修得単位数の合計が18単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の合計が14単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の中に必修の「特別演習Ⅰ(2単位)」が入っており、かつ、選択の「特別講究ⅠもしくはⅡ」または「特別実験ⅠもしくはⅡ」のうち少なくとも1科目(8単位)が入っていること
 - ・修士論文審査に合格すること
 - ・最終試験に合格すること
2. フォトンサイエンスコースの修了要件は、さらに下記の条件を満たすこととする。
 - ・修得単位数の中に必修の「装置実習Ⅰ」、選択必修の「装置実習Ⅱ～Ⅳ」のうち1つ(2単位)、必修の「産学連携実践講義Ⅱ」(2単位)および「フォトンサイエンス特論」(2単位)が入っていること
 この修了要件を満たすことができなかった場合は1の通常コースの修了となる。

卒業要件及び履修方法

1. 本専攻博士前期課程(通常コース)の修了要件は、原則2年以上在籍して在学中に必要な研究指導を受け、下記のすべてを満たしたうえで合計30単位以上を修得することとする。
 - ・上記の開講科目の修得単位数の合計が18単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の合計が14単位以上あること
 - ・自分の属する部門の開講科目の修得単位数の中に必修の「特別演習Ⅰ(2単位)」が入っており、かつ、選択の「特別講究ⅠもしくはⅡ」または「特別実験ⅠもしくはⅡ」のうち少なくとも1科目(8単位)が入っていること
 - ・修士論文審査に合格すること
 - ・最終試験に合格すること
2. フォトンサイエンスコースの修了要件は、さらに下記の条件を満たすこととする。
 - ・修得単位数の中に必修の「装置実習Ⅰ」、選択必修の「装置実習Ⅱ～Ⅳ」のうち1つ(2単位)、必修の「産学連携実践講義Ⅱ」(2単位)および「フォトンサイエンス特論」(2単位)が入っていること
 この修了要件を満たすことができなかった場合は1の通常コースの修了となる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・専任教授 草部浩一が令和3年4月に新たに就任し、教育課程の充実化のために下記のとおり変更。
 - 「物質基礎解析学特別講究ⅢA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別講究ⅢB」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別講究ⅣA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別講究ⅣB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別講究ⅤA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別講究ⅤB」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
 - 「物質基礎解析学特別演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「フォトンサイエンス特論」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授13」に変更。
- ・兼任教授 水島恒裕が令和3年4月に新たに就任し、教育課程の充実化のために下記のとおり変更。
 - 「装置実習Ⅰ(Spring-8/SACLA Basic)」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・兼任客員教授 藤森伸一が令和3年4月に新たに就任し、教育課程の充実化のために下記のとおり変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅢA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅢB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅣA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅣB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅤA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅤB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別演習ⅡA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別演習ⅡB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・兼任客員准教授 佐々木拓生が令和3年4月に新たに就任し、教育課程の充実化のために下記のとおり変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅢA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅢB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅣA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅣB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅤA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅤB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別演習ⅡA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質構造制御学特別演習ⅡB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「産学連携実践講義Ⅰ」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「産学連携実践講義Ⅱ」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。

【令和4年度】

- ・専任教授 三宅由寛が令和4年4月に新たに就任し、教育課程の充実化のために下記のとおり変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅢA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅢB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅣA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅣB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅤA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別実験ⅤB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - 「物質反応解析学特別演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・兼任客員准教授 川崎郁斗が令和4年4月に新たに就任し、教育課程の充実化のために下記のとおり変更。
 - 「物質機能解析学特別実験ⅢA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質機能解析学特別実験ⅢB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質機能解析学特別実験ⅣA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質機能解析学特別実験ⅣB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質機能解析学特別実験ⅤA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質機能解析学特別実験ⅤB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 「物質機能解析学特別演習ⅡA」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。

【令和5年度】

- ・専任教授 吾郷友宏が令和5年4月に新たに就任し、教育課程の充実のために下記のとおり下記変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅢA」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅢB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅣA」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅣB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅤA」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別実験ⅤB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
 - 「物質構造制御学特別演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	28 科目	0 科目	39 科目	11 科目 []	28 科目 []	0 科目 []	39 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム (新カリキュラム) の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム (旧カリキュラム) の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考					
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体借用面積： ①3,999.93㎡ ②15,949.94㎡ ③1,563.10㎡ 借用期間： ①1年間(R11.10.31まで1年毎に自動更新) ②10年間(10年毎に自動更新) ③初回16ヵ月(以後1年毎に自動更新) 兵庫県立淡路景観園芸学校(収容定員65名、県条例に基づいて設置しており面積基準なし)と共用					
	校舎敷地	329,798.28㎡	17,646.61㎡	0.00㎡	347,444.89㎡						
	運動場用地	79,775.50㎡	0.00㎡	0.00㎡	79,775.50㎡						
	小計	409,573.78㎡	17,646.61㎡	0.00㎡	427,220.39㎡						
	その他	361,067.13㎡	112,635.88㎡	0.00㎡	473,703.01㎡						
	合計	770,640.91㎡	130,282.49㎡	0.00㎡	900,923.40㎡						
(2) 校舎	専用	154,909.98㎡	11,734.05㎡	288.00㎡	166,932.03㎡						
	(154,909.98㎡)	(11,734.05㎡)	(288.00㎡)	(166,932.03㎡)							
(3) 教室等	講義室	6室	演習室	12室	実験実習室	95室	情報処理学習施設	1室	語学学習施設	1室	講義室、演習室、情報処理学習施設、語学学習施設は学部と共用 (補助職員 0 人) (補助職員 0 人)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数			令和5年4月専任教員2名、専任准教授1名を新規採用のため(5)				
	理学研究科			58 5-5			室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標本	工学研究科との共用分を含む			
		[うち外国書]	[うち外国書]	[うち外国書]	点	点	点				
		冊	種	[うち外国書]							
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点				
理学研究科	281,979 [104,633]	524 [331]	171 [167]	1100	0	0	工学研究科との共用分を含む				
	280,710 [104,453]	520 [329]	(182 [178])	1097	(0)	(0)					
	(277,871 [102,902])	(3,465 [1,859])	(-179 [-175])	996	(0)	(0)					
計	281,979 [104,633]	524 [331]	171 [167]	1100	0	0					
	280,710 [104,453]	520 [329]	(182 [178])	1097	(0)	(0)					
	(277,871 [102,902])	(3,465 [1,859])	(-179 [-175])	996	(0)	(0)					
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数							
	3661.79㎡	297隻		306,389冊							
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要									
	1602.43㎡	—				—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	専攻単位での算出は不可能であるため、研究科と学部の合計共同研究費は大学全体		
		教員1人当たり研究費等	700千円	700千円	図書購入費	12,000千円	12,000千円	12,000千円			
		共同研究費等	620,306千円	620,306千円	設備購入費	84,000千円	84,000千円	84,000千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	第1年次欄、上段は入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者又はその配偶者若しくは1親等の親族である者及び学部から引き続き当該大学院に入学する者。下段はそれ以外の者。			
		817.8千円 958.8千円	535.8千円	535.8千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		運営交付金、雑収入等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
国際商経学部	4	360	0	1,440	学士(経済学)	1.02	1.02	1.04	1.01	-	令和元	-	9月入学(定員30名)実績は、令和4年以前の入学実績には含め、令和5年入学には含めない。					
国際商経学科	4	360	0	1,440	学士(経営学)	1.02	1.02	1.04	1.01	-	令和元	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1						
社会情報科学部	4	100	0	400	学士(社会情報科学)	1.01	-	1.03	1.01	-	令和元	-						
社会情報科学科	4	100	0	400	学士(社会情報科学)	1.01	-	1.03	1.01	-	令和元	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1						
工学部	4	352	0	1,480	学士(工学)	1.04	1.03	1.07	1.04	-	平成16	-						
電気電子情報工学科	4	126	0	504	学士(工学)	1.04	1.04	1.09	1.05	-	平成16	姫路市書写2167番地						
機械・材料工学科	4	126	0	504	学士(工学)	1.01	-	1.02	1.01	-	平成16	同上						
応用科学工学科	4	100	0	400	学士(工学)	1.06	-	1.10	1.05	-	平成16	同上						
理学部	4	175	0	700	学士(理学)	1.06	1.06	1.04	1.00	-	平成16	-						
物資科学科	4	90	0	360	学士(理学)	1.07	1.07	1.08	1.03	-	平成16	(2~4年次)赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号 (1年次)姫路市書写2167番地						
生命科学科	4	85	0	340	学士(理学)	1.04	-	0.99	-	-	平成16	同上						
環境人間学部	4	205	0	820	学士(環境人間学)	1.01	-	1.02	1.01	-	平成16	-						
環境人間学科	4	205	0	820	学士(環境人間学)	1.01	-	1.02	1.01	-	平成16	(2~4年次)姫路市新在家本町1丁目1番12号 (1年次)姫路市書写2167番地						
看護学部	4	420	0	420	学士(看護学)	1.00	-	1.00	-	-	平成16	-						
看護学科	4	420	0	420	学士(看護学)	1.00	-	1.00	-	-	平成16	(2~4年次)明石市北王子町13番71号 (1年次)神戸市西区学園西町8丁目2番地の1						
大学全体	4	1,297	0	5,188	-	1.03	1.02	1.04	1.01	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	客員 准教授	齋藤 寛之 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)	兼任	客員 准教授	齋藤 寛之 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)	兼任	客員 准教授	齋藤 寛之 (47) 〈令和3年4月〉 博士(工学)	兼任	客員 准教授	齋藤 寛之 (48) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※			物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※			物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※			物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※
			兼任	客員 准教授	佐々木 拓生 (38) 〈令和3年4月〉 博士(工学)	兼任	客員 准教授	佐々木 拓生 (39) 〈令和3年4月〉 博士(工学)	兼任	客員 准教授	佐々木 拓生 (40) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
					物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※			物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※			物質構造制御学特別実験ⅢA ※ 物質構造制御学特別実験ⅢB ※ 物質構造制御学特別実験ⅣA ※ 物質構造制御学特別実験ⅣB ※ 物質構造制御学特別実験ⅤA ※ 物質構造制御学特別実験ⅤB ※ 物質構造制御学特別演習ⅡA ※ 物質構造制御学特別演習ⅡB ※
						兼任	客員 准教授	川崎郁斗 (41) 〈令和4年4月〉 博士(理学)	兼任	客員 准教授	川崎郁斗 (42) 〈令和4年4月〉 博士(理学)
					物質機能解析学特別実験ⅢA ※ 物質機能解析学特別実験ⅢB ※ 物質機能解析学特別実験ⅣA ※ 物質機能解析学特別実験ⅣB ※ 物質機能解析学特別実験ⅤA ※ 物質機能解析学特別実験ⅤB ※ 物質機能解析学特別演習ⅡA ※			物質機能解析学特別実験ⅢA ※ 物質機能解析学特別実験ⅢB ※ 物質機能解析学特別実験ⅣA ※ 物質機能解析学特別実験ⅣB ※ 物質機能解析学特別実験ⅤA ※ 物質機能解析学特別実験ⅤB ※ 物質機能解析学特別演習ⅡA ※			
兼任	講師	上野 剛 (52) 〈令和3年4月〉 博士(理学)	兼任	講師	上野 剛 (52) 〈令和3年4月〉 博士(理学)	兼任	講師	上野 剛 (53) 〈令和3年4月〉 博士(理学)	兼任	講師	上野 剛 (54) 〈令和3年4月〉 博士(理学)
		装置実習Ⅰ(SPring-8/SACLA Basic)			装置実習Ⅰ(SPring-8/SACLA Basic)			装置実習Ⅰ(SPring-8/SACLA Basic)			装置実習Ⅰ(SPring-8/SACLA Basic)
兼任	講師	古河 弘光 (58) 〈令和3年4月〉 学士(工学)	兼任	講師	古河 弘光 (58) 〈令和3年4月〉 学士(工学)	兼任	講師	古河 弘光 (59) 〈令和3年4月〉 学士(工学)	兼任	講師	古河 弘光 (60) 〈令和3年4月〉 学士(工学)
		装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)
兼任	講師	清水 美代子 (44) 〈令和3年4月〉 学士(理学)	兼任	講師	清水 美代子 (44) 〈令和3年4月〉 学士(理学)	兼任	講師	清水 美代子 (45) 〈令和3年4月〉 学士(理学)	兼任	講師	清水 美代子 (46) 〈令和3年4月〉 学士(理学)
		装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)
兼任	講師	伊藤 喜子 (54) 〈令和3年4月〉 学士(理学)	兼任	講師	伊藤 喜子 (54) 〈令和3年4月〉 学士(理学)	兼任	講師	伊藤 喜子 (55) 〈令和3年4月〉 学士(理学)	兼任	講師	伊藤 喜子 (56) 〈令和3年4月〉 学士(理学)
		装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)			装置実習Ⅳ(電顕/イメージング)
兼任	講師	柳本 俊之 (64) 〈令和3年4月〉 学士(工学)	兼任	講師	柳本 俊之 (64) 〈令和3年4月〉 学士(工学)	兼任	講師	柳本 俊之 (65) 〈令和3年4月〉 学士(工学)	兼任	講師	柳本 俊之 (66) 〈令和3年4月〉 学士(工学)
		産学連携実践講義Ⅰ ※ 産学連携実践講義Ⅱ ※			産学連携実践講義Ⅰ ※ 産学連携実践講義Ⅱ ※			産学連携実践講義Ⅰ ※ 産学連携実践講義Ⅱ ※			産学連携実践講義Ⅰ ※ 産学連携実践講義Ⅱ ※

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

令和3年4月草部浩一専任教授就任。
令和3年4月水島恒裕兼任教授就任。
令和3年4月藤森伸一兼任客員教授就任。
令和3年4月佐々木拓生兼任客員准教授就任。

【令和4年度】

小林寿夫専任教授が研究科長に就任。
令和4年4月三宅由寛専任教授就任。
令和4年4月川崎郁斗兼任客員准教授就任。

【令和5年度】

令和5年4月永安聖専任教授就任。
令和5年4月吾郷友宏専任教授就任。
令和5年4月光明新専任准教授就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
14	15	0	0	29	0	17	15	0	0	32	0
(14)	(15)	0	0	(29)	0						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
29	14	0	0			32	17	0	0		
29	14	0	0			32	17	0	0		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	15	0	0	32	0	17	15	0	0	32	0
[3]	[0]	[0]	[0]	[3]	[0]	[3]	[0]	[0]	[0]	[3]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
32	17	0	0			32	17	0	0		
[3]	[3]	[0]	[0]			[3]	[3]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{29} = \boxed{110.34} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	野村 祐司	R5.2	必修	物質基礎解析学特別講究ⅢB	①	R5.2.27付け死亡退職 (5)
				必修	物質基礎解析学特別講究ⅣA	①	
				必修	物質基礎解析学特別講究ⅣB	①	
				必修	物質基礎解析学特別講究ⅤA	①	
				必修	物質基礎解析学特別講究ⅤB	①	
				必修	物質基礎解析学特別演習ⅡA	①	
				必修	物質基礎解析学特別演習ⅡB	①	
2							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由**で辞任した**全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{29} = \boxed{3.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1									
2									
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理学研究科 物質科学専攻 博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
教授会を中心に研究科にてFD活動を進めている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
教授会にてFD活動に関する連絡・協議を行っている。

c 委員会の審議事項等
講義や研究指導で求められる教員の資質や指導法の向上に結びつくことを目指して協議している。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ コンプライアンスのための研修会の実施（令和4年度：公的研究費の不正防止について）
- ・ 新任教員のための安全講習会
- ・ 教員の授業方法・目的意識の向上（退官教員の最終講義の聴講）

b 実施方法

- ・ 教授会等にて協議・連絡を行なっている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 定期的に上記記載の項目のFD活動を実施している

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生によるプレゼンテーションの場において、公平性、客観性を大切にしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期、後期とも、試験実施前にアンケートを行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等
全学の学内Webシステム(Universal passport)により、全教員及び全学生に公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設3年目に当たり、令和5年度に物質科学専攻において博士前期課程34名、博士後期課程5名が入学し、令和4年度と合わせて博士前期課程65名、博士後期課程16名の人材が確保されたので、理学研究科の掲げるポリシーに基づき教育研究活動を実施する。

教員組織については、新規に専任教員2名（吾郷教授、光明准教授）を採用し、本研究科が目指す「学際的な教育と研究」を通じた幅広い視野を持つ学生の育成を行い、新分野を確立できる理学系大学院の一層の発展を期す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和5年10月1日 公表予定

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（令和5年9月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・ 全学について、平成28年度に評価機関（（独）大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審し、平成29年3月23日に「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を受けた（大学ホームページに公表済み）。教育研究活動等の質の維持向上に向けて、令和5年度までに認証評価を受審予定である。

（注） ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。